

# 塩分摂取量簡易測定器 『減塩モニタ』

株式会社河野エムイー研究所  
代表取締役 河野英一  
川崎市高津区坂戸3-2-1KSP西609C  
TEL:044-811-3356 FAX:044-811-1811  
konome@mtc.biglobe.ne.jp  
<http://www7a.biglobe.ne.jp/~konome/>

## 背景 高齢化の進展

高齢化の進展  
高齢人口比率の増大



生活習慣病の増大  
(高血圧、糖尿病、慢性腎臓病)



早期発見と生活習慣改善が重要  
適切な栄養摂取(食生活)が特に重要

## 背景 栄養摂取、食生活の目標

栄養、食生活の目標

(厚労省 健康日本21 平成12年)

- ・適正な体重の維持
- ・食塩摂取量 : 1日10g未満
- ・野菜摂取量 : カリウム1日3.5g以上
- ・カルシウム摂取量 : 1日600mg以上



食生活を改善するためには簡単に測定できる  
塩分摂取量測定器が必要



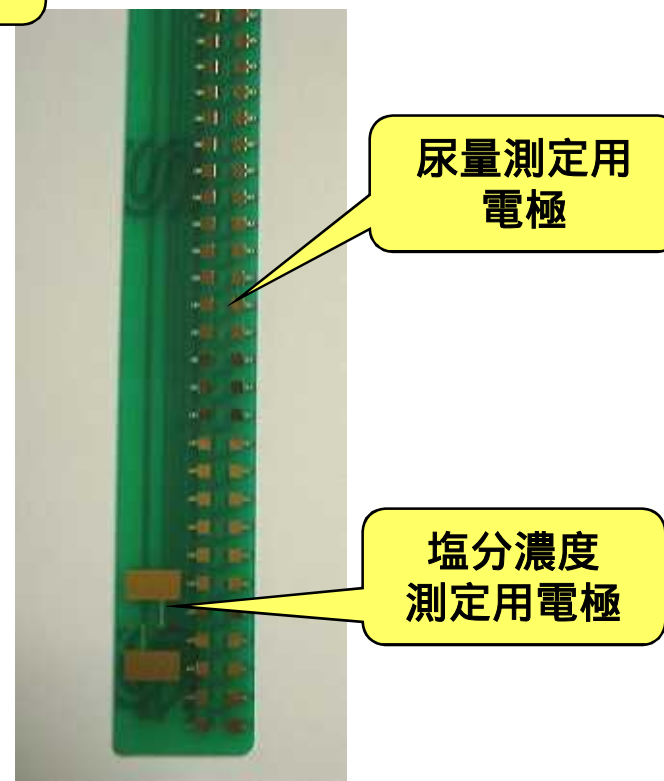
# 測定原理と外観

早朝尿の尿量と塩分濃度を測定  
1日あたりの塩分摂取量を演算推定

横浜市大医学部朽久保研究室  
との共同研究

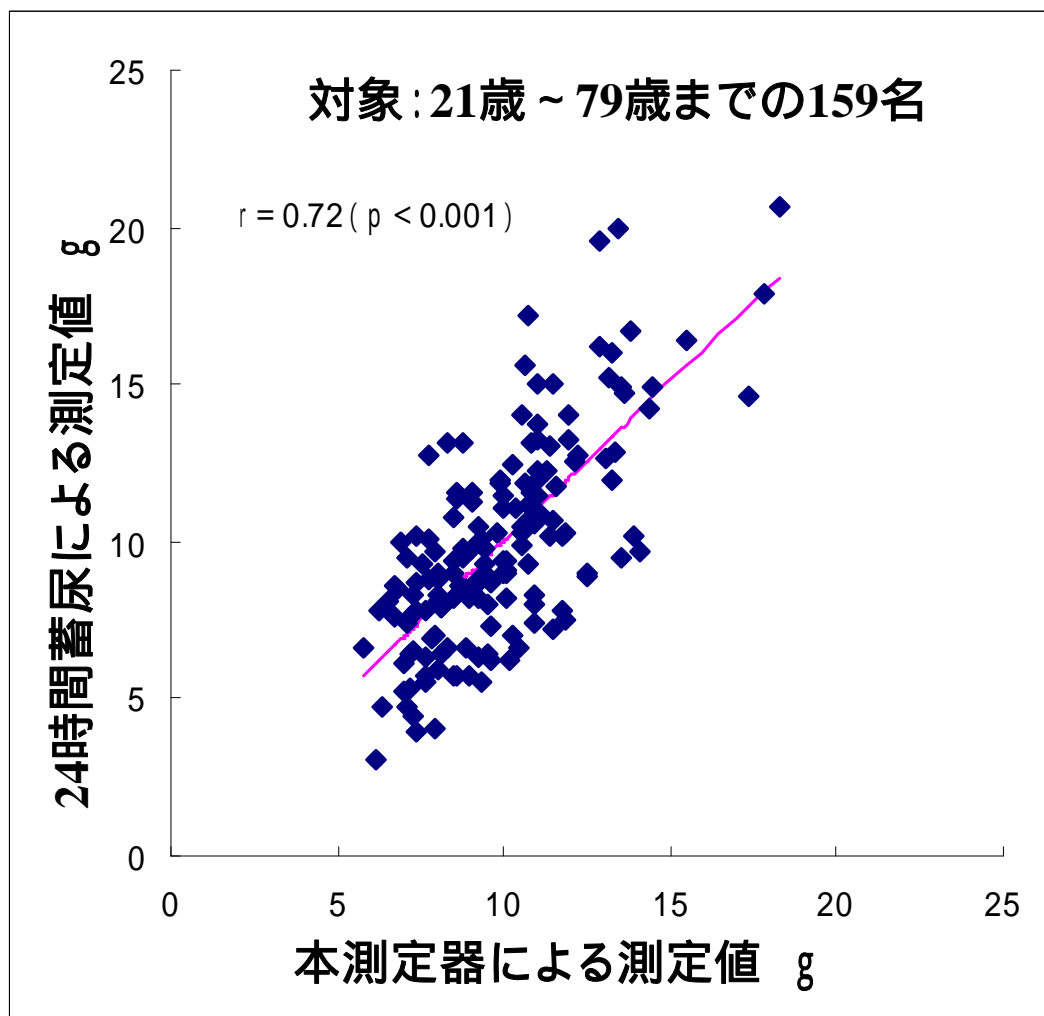


外観(高さ15cm)



センサー

# 塩分摂取量簡易測定器の測定値と 24時間蓄尿による測定値との比較

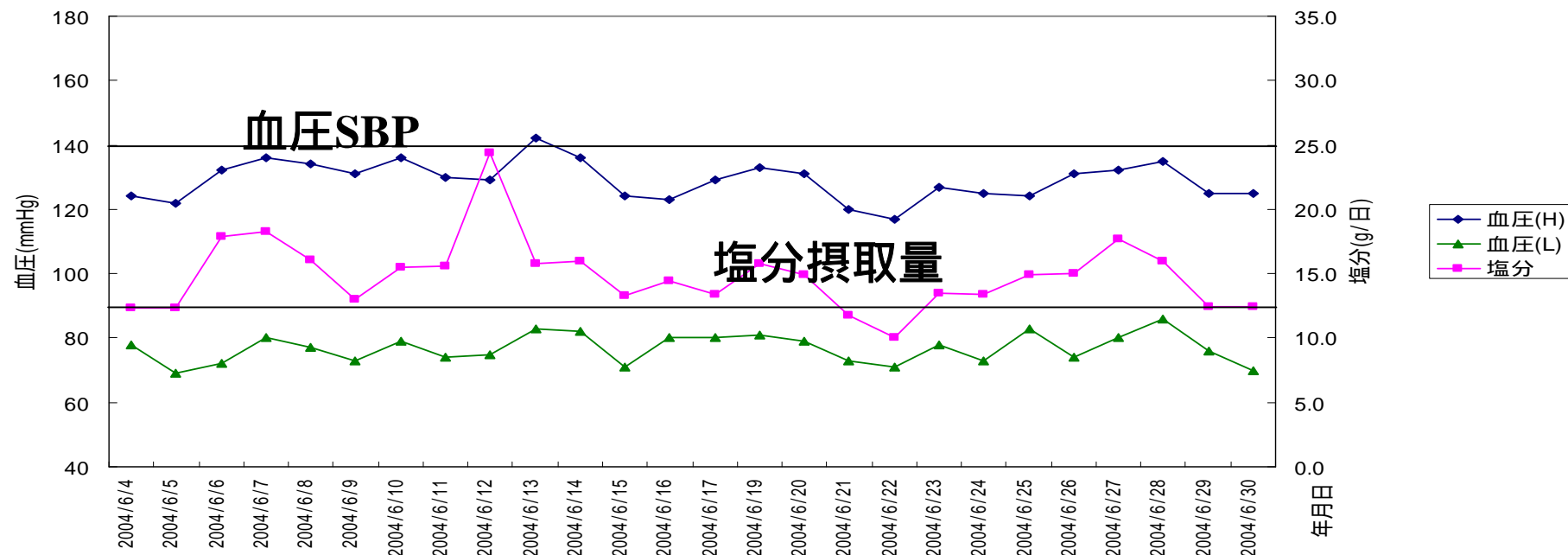


測定ばらつきはある程度大きい

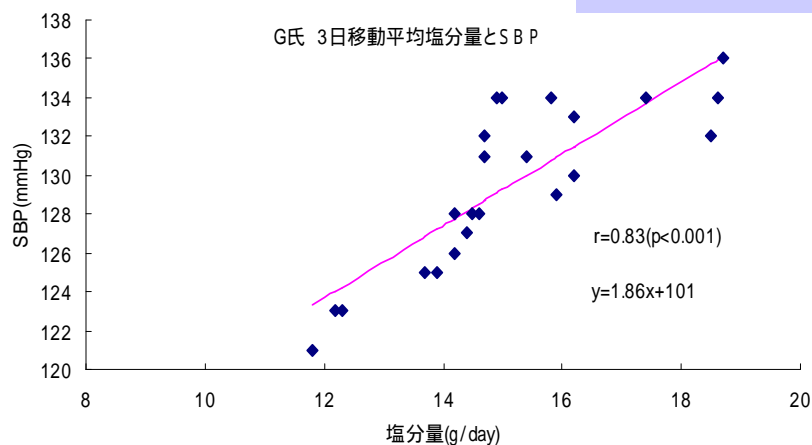
- ・早朝尿から24時間尿を推定
- ・導電率はNaの他にKも測定

個人の測定データは再現性良好  
個人の減塩管理には  
十分利用できる

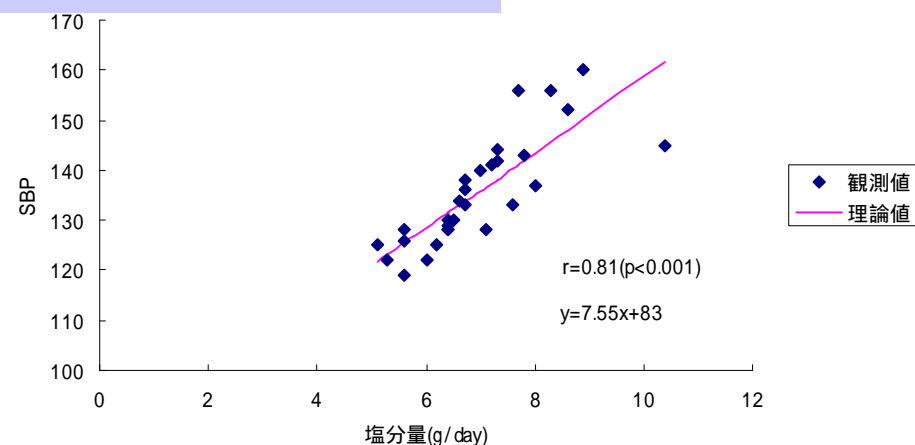
# 使用例 日々の塩分摂取量と血圧SBP 高い相関あり



## 使用例 塩分摂取量と血圧SBP



患者A(65歳) 塩分14g/日 以下が望ましい



患者B(53歳) 塩分6g/日 以下が望ましい